

【公共政策学講演会】

社会保険庁から 日本年金機構へ —なぜ改革が必要とされたか

講師：薄井 康紀

昭和51年厚生省（現在の厚生労働省）入省。
厚生労働省政策統括官（社会保障担当）、
社会保険庁総務部長・日本年金機構設立準備事務局長、
日本年金機構副理事長を歴任。

日時：11月17日（火） 16:30～18:00

場所：文系共同講義棟 5番教室

■聴講について

この講演会は、公共政策大学院授業科目「公共経営事例研究」の一環として行うものですが、学内の方にかぎり、聴講を歓迎いたします。履修者数名を含み、合計40名まで入場可としますので（感染症拡大予防のため人数制限厳守）、参加ご希望の方は当日会場にて学生証・職員証を提示のうえご参加ください。ただし質疑応答などは履修者優先とさせていただきます。

